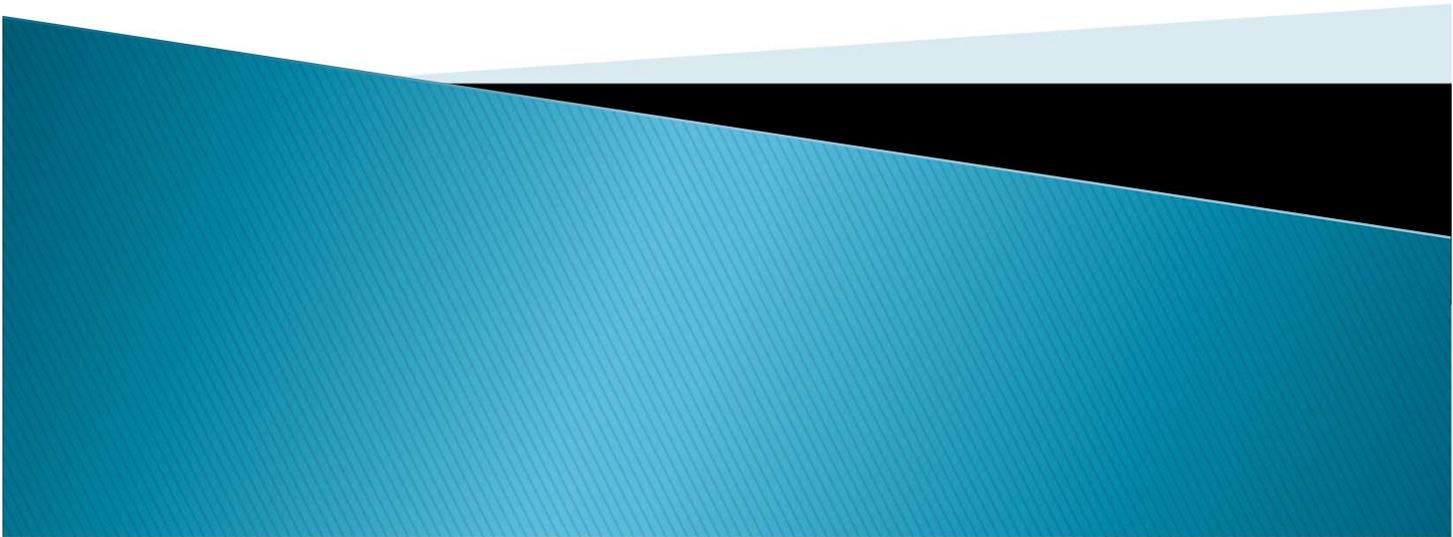


年報

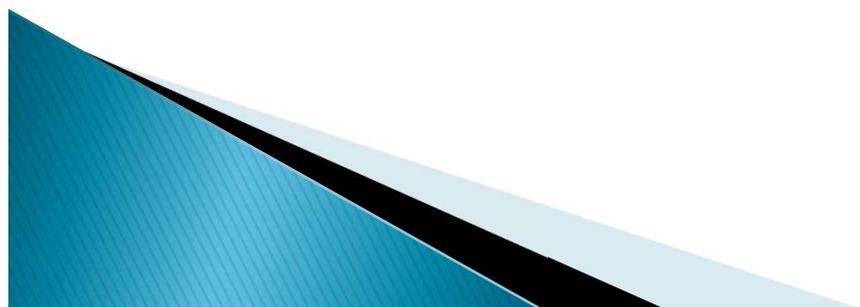
医療法人社団協友会 吉川中央総合病院

2020



目次

病院概要	1
沿革	3
事業計画	4
業績(医師)	7
業績(医師以外)	8
組織図	9
委員会組織図	10
臨床実績 年次報告	11
各部署 年次報告	32
看護部	33
医療安全管理室	35
薬剤部	36
リハビリテーション科	37
検査科	38
放射線科	40
栄養科	41
総務課	42
医事課	43
患者家族支援課	45
健康管理科	46



◆医療法人社団協友会 吉川中央総合病院◆

【開設】 1974年9月

【所在地】 〒342-0056
埼玉県吉川市平沼111番地
TEL 048-982-8311(代)
FAX 048-981-2062
URL <http://www.yoshikawa-hp.or.jp>

【開設者】 理事長 平岡 邦彦

【管理者】 院長 水田 哲明
事務長 松崎 智
看護部長 中澤 文子

【病院理念】 患者様中心の質の高い医療

【基本理念】 1. 当院は、24時間救急医療に対応します。
2. 当院は、インフォームド・コンセントに基づいた医療を提供します。
3. 当院は、チームで医療と看護を行います。
4. 当院は、医療連携を推進し、地域医療に貢献します。
5. 当院は、在宅ケアを積極的に推進します。
6. 当院は、質の高い緩和ケアを提供します。
7. 当院の臨床倫理方針に基づいた医療を提供します。

【診療科目】 内科 / 外科 / 消化器内科 / 整形外科 / 脳神経外科 /
小児科 / 眼科 / 皮膚科 / 耳鼻咽喉科 / 泌尿器科 /
リハビリテーション科 / 麻酔科 / 緩和ケア内科

【各種部門】 診療部 / 看護部 / 診療技術部(薬剤科・放射線科・
検査科・リハビリテーション科・患者家族支援課・
栄養科) / 事務部(医事課・総務課・経理課・
健康管理課・診療情報管理室・メディカルクラーク・
システム管理室 等)

【職員数】 415名（常勤） 126名（非常勤）

【病床数】 272床

【延床面積】 12,870.30 m²

【敷地面積】 6,464.47 m²

【指定施設】 保健取扱指定医療機関 / 労災保険指定医療機関 / 救急告示病院 / 第二次救急医療病院群輪番制病院 / 生活保護法指定医療機関 / 結核予防法指定医療機関 / 原子爆弾被爆者一般医療指定機関 / 感染症指定届出医療機関 / 身体障害者福祉法第15条指定医 / 日本外科学会外科専門医制度研修施設 / 日本整形外科学会専門医制度研修施設 / 日本がん治療認定機構認定研修施設

【研修実施施設】 看護専門学校実習施設 / 理学療法士 / 管理栄養士 / 医療事務

【基準認可】 急性期一般入院料1 / 障害者施設等入院基本料10対1 / 療養病棟入院基本料1 / 緩和ケア病棟入院料 / 回復期リハビリテーション入院料1 / 診療録管理体制加算1 / 医師事務作業補助体制加算20対1 / 急性期看護補助体制加算50対1 / 夜間100対1急性期看護補助体制加算 / 医療安全対策加算1 / 感染防止対策加算2 / 特殊疾患入院施設管理加算 / 療養病棟療養管理加算1 / 病棟薬剤業務実施加算 / 後発医薬品使用体制加算1 / データ提出加算2(イ) / がん患者指導管理料 / 外来化学療法加算1 / 薬剤管理指導料 / 麻酔管理料 / 検体検査管理加算2 / コンタクトレンズ検査料1 / 抗悪性腫瘍剤処方管理加算 / 無菌製剤処理料 / 輸血管理料2 / 輸血適正使用加算 / 退院支援加算1 / 認知症ケア加算2 / 胃瘻増設術胃瘻増設時嚥下機能評価加算 / 精神疾患診療体制加算 / 脳血管疾患リハビリテーション料1 / 運動器リハビリテーション料1 / 呼吸器リハビリテーション料1 / がん患者リハビリテーション料

【併設施設】 吉川市第3地域包括支援センター
居宅介護支援事業所吉川中央

病院沿革

- 1974年 9月 吉川中央病院開設 病床数102床
- 1978年 7月 医療法人社団中央米寿会 吉川中央病院に組織変更
- 1981年 3月 病床数78床増床(180床) ※許可ベッド165床
- 8月 医療法人社団協友会 吉川中央病院に名称変更
- 1998年 4月 病床数15床増床(195床)
- 1999年 6月 吉川中央総合病院へ名称変更
- 3月 訪問看護ステーション開設
- 2000年 4月 在宅介護支援センター開設
- 4月 訪問介護ステーション開設
- 2003年 4月 病床数84床増床(279床)
- 4月 マンモグラフィー導入
- 2006年 7月 介護型療養病棟84床に
- 11月 訪問リハビリテーション事業所開設
- 2007年 7月 許可ベッド数279床から273床へ減床
- 7月 訪問介護ステーション休止
- 2009年 1月 医療法人社団協友会 理事長変更 中村秀夫から中村康彦へ
- 4月 DPC対象病院認定
- 2012年 9月 介護型療養病棟84床を医療型療養病棟84床に変更
- 2013年 1月 新棟A棟竣工
- 1月 MRI(1.5T)導入
- 1月 CT(64列)導入
- 2月 許可ベッド数273床から264床へ減床
- 11月 電子カルテ運用開始
- 2014年 9月 新棟B棟竣工
- 10月 許可ベッド数264床から272床へ増床
- 2015年 2月 医療法人社団協友会 理事長変更 中村康彦から平岡邦彦へ
- 7月 (財)日本医療機能評価機構(3rd.G ver1.0)認定
- 11月 日本がん治療認定医機構認定研修施設認
- 2020年 10月 医療型療養病棟 54床から30床へ変更
- 回復期リハビリテーション病棟 30床から54床へ変更

2020年度事業計画

【AMG方針】

1. 患者(利用者)中心の医療・介護の推進

- ◇患者(利用者)ニーズの検証による積極的な改善・効率化の活動
- ◇アウトカム指標の効率的な活用による医療・介護の質の向上
- ◇必要な情報をわかりやすく発信

2. 地域と密着した医療・介護の実践・地域連携の強化

- ◇地域連携の強化(紹介件数アップ)
- ◇切れ目のない医療・介護のための在宅事業の強化(人員強化を含む)

3. 健全経営の継続

- ◇診療報酬改定に向けた組織的な取り組み
- ◇予算達成に向けた組織的活動
- ◇祝祭日の診療体制整備
- ◇予防医療の強化と二次検診受診率の向上

4. 人財の育成

- ◇リーダーシップ育成の充実
- ◇全職種の初期研修(入植1年～2年目)のプログラムの充実
- ◇専門資格取得支援及び学会発表の推奨

5. 継続的質改善の取り組み

- ◇施設基準遵守のための体制強化
- ◇第三者評価の受審を活用した改善活動
- ◇タスクシフト・タスクシェアの推奨

【事業計画】

病院稼働目標	一般病棟	(前期)88.5%	(後期)88.5%
全体 (前期)91.2%	障害者病棟	(前期)95.5%	(後期)95.5%
(後期)89.3%	療養病棟	(前期)96.3%	(後期)96.7%
	回復期リハ病棟	(前期)93.3%	(後期)83.3%
	緩和ケア病棟	(前期)78.8%	(後期)78.8%

	目標	実績
入退院数	9.0人/日	9.0人/日

回復期リハ病棟と療養病棟の入れ替えを行う。一般病棟、特に整形外科及び脳神経外科からの受け皿として、回復期リハ病棟の増床を行う。

平均在院日数の短縮も視野に入れ、入退院の回転率向上を目指す。

救急体制の強化

年間2000件以上の救急搬送件数を目標とする。

2019年度 146件/月平均 → 170件/月平均

3科当直導入(週1回)

救急直通電話の設置

看護職員夜間配置加算16:1の取得

入院時支援加算の算定開始

【中長期計画】

1. 健診センター

病院敷地内に隣接する土地を購入し、健診センターを開設する。病院本館の検査部門と通路をつなげることで、外来部門との切り離しが可能となり、アメニティも充実させ、地域の健診事業の中心的な存在を目指す。

2. 訪問看護ステーション

みなしで行っている訪問看護について、外部に移転し訪問看護ステーションとして事業を展開する。訪問看護ステーションは、吉川市で4事業所、松伏町で1事業所のみとなっており、地域の貢献度も向上する。

3 職員寮の改築

老朽化に伴う改築を行い、職員の安定採用につなげる。

医師業績集 [学会・研究会並びに著書・執筆活動]

氏名	診療科	月日	発表学会名 または掲載誌	学術発表及び演題名
阿部 哲士	整形外科	2020年 4月1日	がんでも歩こう！ キャンサー ジャーニーを豊かにする運動 のすすめ P163-173	お金の問題と仕事の問題
阿部 哲士	整形外科	2020年 5月1日	骨折 (0287-2285)42巻3号 Page1141-1147(2020.05)	四肢の転移性骨腫瘍の手術に おけるインプラント関連合併症
阿部 哲士	整形外科	2020年 7月1日	Bone Joint Nerve第38号 第10巻第3号 431-435	就労支援とがんロコモ対策
小島一人	化学療法科	2020年 8月9日	緩和・支持・心のケア 合同学術大会2020	薬物療法・漢方薬併用支持療法・ 放射線治療の集学的治療にて36カ月の 長期OSを得られた RAS変異stageIV直腸癌の一例
小島一人	化学療法科	2020年 10月22日	第58回日本癌治療学会 学術集会	TS-1療法にて長期治療継続が 得られた高齢者肝内胆管癌の一例
小島一人	化学療法科	2021年 3月12日	East Saitama Cancer Board	大腸癌治療における Bevacizumabについて
古川元春	整形外科	2021年 2月27日	第700回関東整形災害外科 学会月例会	CPPD沈着症による頸髄症 増悪の一例

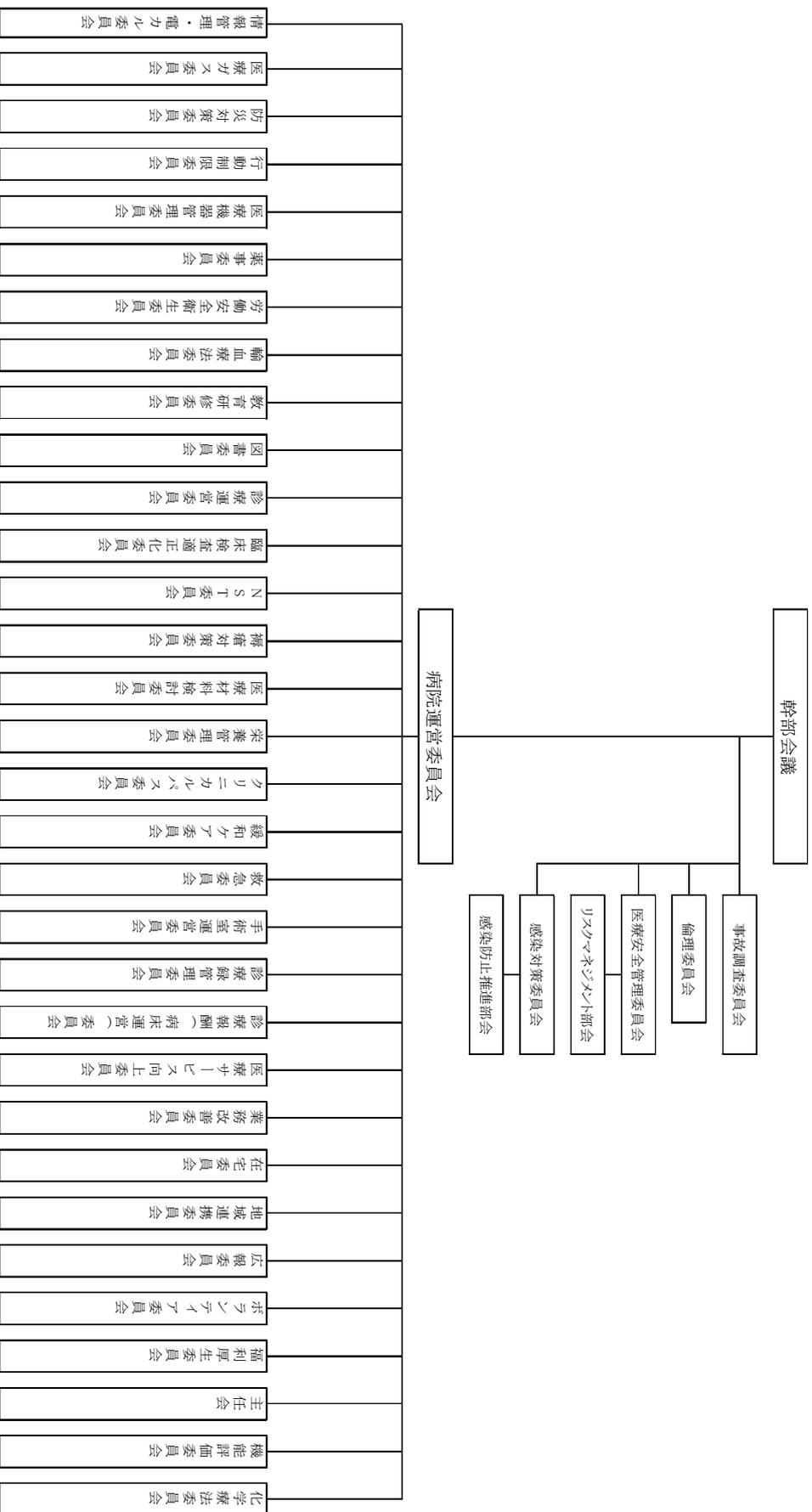
看護・コメディカル・事務 その他業績集 [学会・研究会並びに著書・執筆活動]

氏名	部署	月日	発表学会名 または掲載誌	学術発表及び演題名
佐古久美子	薬剤科	2020年 10月31日	日本病院薬剤師会 関東ブロック第50回学術大会	保険薬局への退院時薬剤情報提供の取り組み ～院内と外来でのシームレスな薬学的 患者ケアの実践～
笹川 拓也	放射線科	2021年 3月12日	全国病院経営管理学会 診療放射線業務委員会報告会	放射線部門の安全対策「法令順守」

委員会組織図

吉川中央総合病院 委員会・会議組織図

平成29年5月1日改訂



2020年度 臨床実績 年次報告

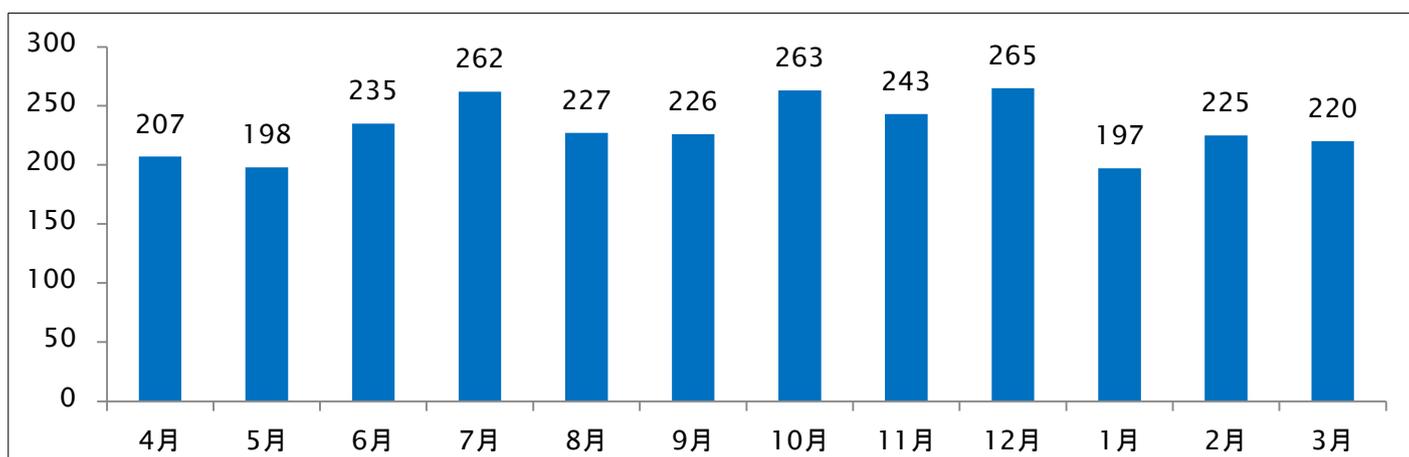
2021年3月31日現在



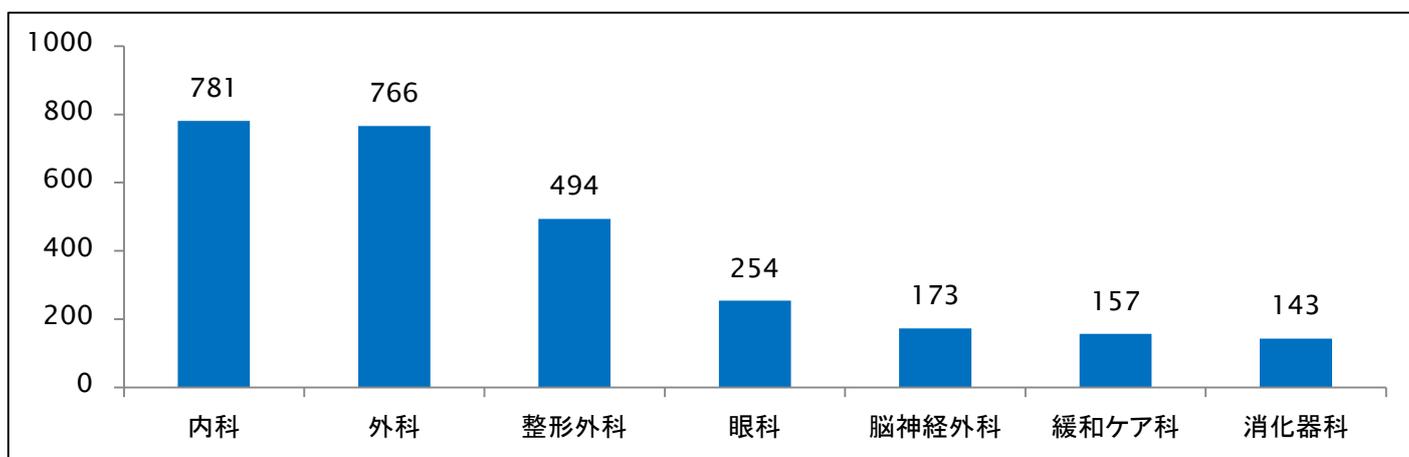
【2020年度 診療科別・月別 新規入院患者数】

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
内科	53	59	71	75	80	49	80	59	75	47	62	71	781
外科	68	61	69	75	56	68	60	63	73	48	68	57	766
整形外科	31	35	39	42	34	43	45	48	52	44	41	40	494
眼科	21	11	5	24	17	22	30	35	21	20	27	21	254
脳神経外科	9	12	14	17	14	15	23	19	18	9	13	10	173
緩和ケア科	15	11	15	15	11	19	11	6	15	17	11	11	157
消化器科	10	9	22	14	15	10	14	13	11	12	3	10	143
総計	207	198	235	262	227	226	263	243	265	197	225	220	2768

【月別 新規入院患者数】



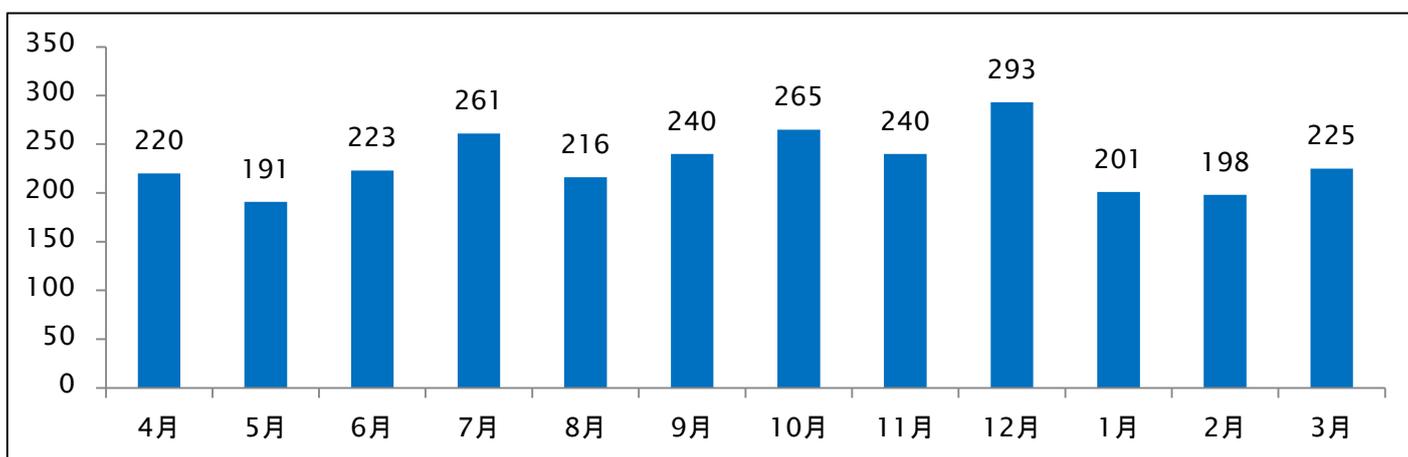
【診療科別 新規入院患者数】



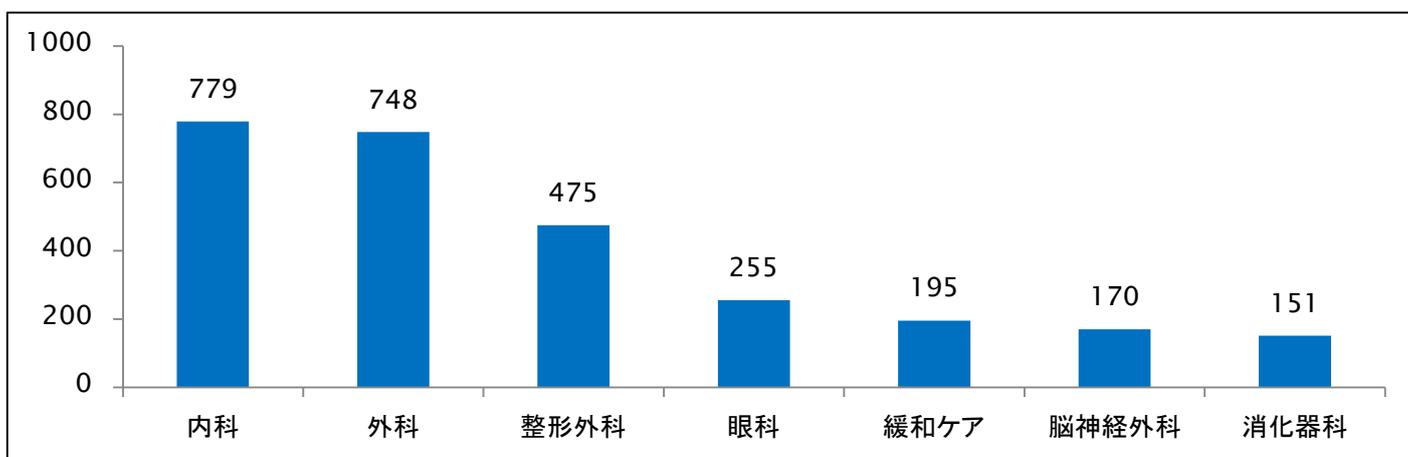
【2020年度 診療科別・月別 退院患者数】

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
内科	62	51	71	61	72	69	75	61	80	68	44	65	779
外科	64	70	64	70	52	67	62	56	86	36	66	55	748
整形外科	32	32	34	48	36	36	45	36	61	37	35	43	475
眼科	21	11	5	24	16	22	31	35	22	20	27	21	255
緩和ケア	16	14	16	23	12	24	15	16	13	17	14	15	195
脳神経外科	14	7	13	13	20	10	18	19	20	10	10	16	170
消化器科	11	6	20	22	8	12	19	17	11	13	2	10	151
総計	220	191	223	261	216	240	265	240	293	201	198	225	2773

【月別 退院患者数】



【診療科別 退院患者数】



【2020年度 診療科別・在院期間別・性別・退院患者数】

診療科	性別	1～8日	～15日	～22日	～31日	～61日	～91日	～6ヶ月	～1年	1年以上	総計
内科	男	120	57	35	43	64	28	25	17	14	403
	女	82	43	56	45	62	27	30	22	9	376
	計	202	100	91	88	126	55	55	39	23	779
外科	男	213	121	57	27	21	3	2	0	0	444
	女	145	80	43	16	18	1	1	0	0	304
	計	358	201	100	43	39	4	3	0	0	748
整形外科	男	75	14	22	14	32	25	4	0	0	186
	女	55	26	28	45	70	42	22	1	0	289
	計	130	40	50	59	102	67	26	1	0	475
眼科	男	125	0	0	0	0	0	0	0	0	125
	女	129	1	0	0	0	0	0	0	0	130
	計	254	1	0	0	0	0	0	0	0	255
緩和ケア	男	39	21	14	11	15	2	5	1	0	108
	女	25	17	15	9	15	5	1	0	0	87
	計	64	38	29	20	30	7	6	1	0	195
脳神経外科	男	16	9	14	9	20	6	14	1	0	89
	女	13	16	8	6	16	10	10	2	0	81
	計	29	25	22	15	36	16	24	3	0	170
消化器科	男	55	11	8	8	2	0	1	0	0	85
	女	47	11	1	3	4	0	0	0	0	66
	計	102	22	9	11	6	0	1	0	0	151
総計	男	643	233	150	112	154	64	51	19	14	1440
	女	496	194	151	124	185	85	64	25	9	1333
	計	1139	427	301	236	339	149	115	44	23	2773

【2020年度 診療科別・年齢層・性別・退院患者数】

診療科	性別	0～9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60～64歳	65～69歳	70代	80代	90歳以上	総計
内科	男	0	0	3	4	9	7	7	11	72	145	118	376
	女	0	1	6	10	14	21	14	22	123	137	55	403
	計	0	1	9	14	23	28	21	33	195	282	173	779
外科	男	0	7	14	11	21	37	24	23	86	61	20	304
	女	0	6	15	17	31	62	31	52	130	90	10	444
	計	0	13	29	28	52	99	55	75	216	151	30	748
整形外科	男	2	1	1	9	12	14	7	20	75	100	48	289
	女	5	19	8	12	15	25	11	12	35	34	10	186
	計	7	20	9	21	27	39	18	32	110	134	58	475
眼科	男	0	0	1	0	1	0	11	12	79	25	1	130
	女	1	0	0	0	1	7	5	13	80	15	3	125
	計	1	0	1	0	2	7	16	25	159	40	4	255
緩和ケア	男	0	0	1	1	5	7	3	6	31	22	11	87
	女	0	0	0	0	2	9	3	20	44	27	3	108
	計	0	0	1	1	7	16	6	26	75	49	14	195
脳神経外科	男	0	2	0	2	2	8	4	5	18	26	14	81
	女	0	4	1	1	3	6	6	5	34	24	5	89
	計	0	6	1	3	5	14	10	10	52	50	19	170
消化器科	男	0	0	0	0	3	1	0	17	27	16	2	66
	女	0	0	0	0	5	10	7	12	32	18	1	85
	計	0	0	0	0	8	11	7	29	59	34	3	151
総計	男	2	10	20	27	53	74	56	94	388	395	214	1333
	女	6	30	30	40	71	140	77	136	478	345	87	1440
	計	8	40	50	67	124	214	133	230	866	740	301	2773

【2020年度 診療科別・診療圏別 退院患者数】

診療科	性別	吉川市	越谷市	松伏町	三郷市	草加市	八潮市	野田市	県内 その他	埼玉 県外	総計
内科	男	216	87	16	10	22	2	1	9	13	376
	女	213	91	22	30	15	2	0	10	20	403
	計	429	178	38	40	37	4	1	19	33	779
外科	男	178	63	27	13	10	2	0	7	4	304
	女	288	68	24	27	15	3	4	12	3	444
	計	466	131	51	40	25	5	4	19	7	748
整形外科	男	189	47	20	10	9	3	0	5	6	289
	女	119	29	10	11	2	2	1	7	5	186
	計	308	76	30	21	11	5	1	12	11	475
眼科	男	101	15	3	0	6	0	0	1	4	130
	女	105	8	9	0	3	0	0	0	0	125
	計	206	23	12	0	9	0	0	1	4	255
緩和 ケア	男	18	39	9	5	12	0	0	4	0	87
	女	40	42	4	7	10	0	0	4	1	108
	計	58	81	13	12	22	0	0	8	1	195
脳神経 外科	男	45	24	4	5	2	0	0	0	1	81
	女	47	27	4	3	1	1	0	4	2	89
	計	92	51	8	8	3	1	0	4	3	170
消化器科	男	48	7	7	0	3	1	0	0	0	66
	女	50	12	0	5	15	0	1	0	2	85
	計	98	19	7	5	18	1	1	0	2	151
総計	男	795	282	86	43	64	8	1	26	28	1333
	女	862	277	73	83	61	8	6	37	33	1440
	計	1657	559	159	126	125	16	7	63	61	2773

【2020年度 疾病分類(大分類)別・診療科別・性別 退院患者数】

類番	国際疾病分類	性別	内科	外科	整形外科	眼科	緩和ケア	脳神経外科	消化器科	総計
I	感染症及び寄生虫	男	14	20	0	0	0	0	0	34
		女	16	28	3	0	1	0	2	50
		計	30	48	3	0	1	0	2	84
II	新生物	男	21	80	1	0	98	4	26	230
		女	17	48	0	0	81	4	10	160
		計	38	128	1	0	179	8	36	390
III	血液および造血系の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	7	5	0	0	3	0	1	16
		女	8	5	0	0	4	0	1	18
		計	15	10	0	0	7	0	2	34
IV	内分泌、栄養および代謝疾患	男	37	2	1	0	0	1	1	42
		女	20	1	1	0	0	0	5	27
		計	57	3	2	0	0	1	6	69
V	精神および行動の障害	男	2	0	0	0	0	0	0	2
		女	0	0	0	0	0	1	3	4
		計	2	0	0	0	0	1	3	6
VI	神経系疾患	男	20	0	1	0	0	15	3	39
		女	20	1	1	0	0	7	1	30
		計	40	1	2	0	0	22	4	69
VII	眼および付属器の疾患	男	0	0	0	125	0	0	0	125
		女	0	0	0	129	0	0	0	129
		計	0	0	0	254	0	0	0	254
VIII	耳および乳様突起の疾患	男	4	0	0	0	0	2	0	6
		女	13	0	0	0	0	3	0	16
		計	17	0	0	0	0	5	0	22
IX	循環器系疾患	男	31	2	0	0	1	49	4	87
		女	52	7	3	0	0	51	9	122
		計	83	9	3	0	1	100	13	209
X	呼吸器疾患	男	164	16	4	0	2	2	0	188
		女	139	3	5	0	1	0	0	148
		計	303	19	9	0	3	2	0	336
X I	消化器系の疾患	男	48	295	1	0	4	1	48	397
		女	15	189	0	0	0	0	32	236
		計	63	484	1	0	4	1	80	633
X II	皮膚および皮下組織の疾患	男	4	3	1	0	0	0	0	8
		女	8	3	2	0	0	0	0	13
		計	12	6	3	0	0	0	0	21
X III	筋骨格系および結合組織の疾患	男	3	1	44	0	0	0	0	48
		女	6	1	48	0	0	0	0	55
		計	9	2	92	0	0	0	0	103
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	男	30	12	0	0	0	0	1	43
		女	49	11	1	0	0	0	0	61
		計	79	23	1	0	0	0	1	104
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	1	0	0	0	1
		計	0	0	0	1	0	0	0	1
X IX	損傷、中毒および その他の外因の影響	男	15	8	133	0	0	15	1	172
		女	10	7	225	0	0	14	3	259
		計	25	15	358	0	0	29	4	431
X X II	特殊目的用コード	男	3	0	0	0	0	0	0	3
		女	3	0	0	0	0	1	0	4
		計	6	0	0	0	0	1	0	7
総計	総計	男	403	444	186	125	108	89	85	1440
		女	376	304	289	130	87	81	66	1333
		計	779	748	475	255	195	170	151	2773

【2020年度 疾病分類(大分類)別・在院期間別・性別 退院患者数】

類番	国際疾病分類	性別	1～8日	～15日	～22日	～31日	～61日	～91日	～6ヶ月	～1年未満	1年以上	大分類 総計
I	感染症及び寄生虫	男	19	3	2	5	0	2	1	2	0	34
		女	20	11	4	4	3	4	3	1	0	50
		計	39	14	6	9	3	6	4	3	0	84
II	新生物	男	76	50	27	30	33	4	9	1	0	230
		女	44	31	29	13	28	8	4	3	0	160
		計	120	81	56	43	61	12	13	4	0	390
III	血液および造血系の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	8	3	2	1	1	1	0	0	0	16
		女	8	3	3	3	0	1	0	0	0	18
		計	16	6	5	4	1	2	0	0	0	34
IV	内分泌、栄養および代謝疾患	男	18	8	5	6	5	0	0	0	0	42
		女	6	6	3	4	3	3	2	0	0	27
		計	24	14	8	10	8	3	2	0	0	69
V	精神および行動の障害	男	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		女	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
		計	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6
VI	神経系疾患	男	12	5	2	1	7	1	3	3	5	39
		女	13	6	3	1	0	2	1	1	3	30
		計	25	11	5	2	7	3	4	4	8	69
VII	眼および付属器の疾患	男	125	0	0	0	0	0	0	0	0	125
		女	128	1	0	0	0	0	0	0	0	129
		計	253	1	0	0	0	0	0	0	0	254
VIII	耳および乳様突起の疾患	男	5	0	1	0	0	0	0	0	0	6
		女	13	3	0	0	0	0	0	0	0	16
		計	18	3	1	0	0	0	0	0	0	22
IX	循環器系疾患	男	13	13	10	8	17	7	15	1	3	87
		女	26	17	18	13	23	8	12	3	2	122
		計	39	30	28	21	40	15	27	4	5	209
X	呼吸器疾患	男	24	29	27	26	39	17	14	8	4	188
		女	13	14	27	20	36	11	16	10	1	148
		計	37	43	54	46	75	28	30	18	5	336
X I	消化器系の疾患	男	226	100	42	14	9	1	4	1	0	397
		女	136	63	23	7	7	0	0	0	0	236
		計	362	163	65	21	16	1	4	1	0	633
X II	皮膚および皮下組織の疾患	男	1	1	3	1	1	0	0	1	0	8
		女	4	1	2	2	0	0	0	3	1	13
		計	5	2	5	3	1	0	0	4	1	21
X III	筋骨格系および結合組織の疾患	男	16	9	5	6	9	3	0	0	0	48
		女	7	12	11	12	7	3	3	0	0	55
		計	23	21	16	18	16	6	3	0	0	103
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	男	18	5	3	5	5	5	0	1	1	43
		女	16	9	9	11	9	2	4	1	0	61
		計	34	14	12	16	14	7	4	2	1	104
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
X IX	損傷、中毒および その他の外因の影響	男	78	6	21	9	28	23	5	1	1	172
		女	55	16	19	34	68	43	19	3	2	259
		計	133	22	40	43	96	66	24	4	3	431
X X II	特殊目的用コード	男	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
		女	3	0	0	0	1	0	0	0	0	4
		計	5	1	0	0	1	0	0	0	0	7
総計		男	643	233	150	112	154	64	51	19	14	1440
		女	496	194	151	124	185	85	64	25	9	1333
		計	1139	427	301	236	339	149	115	44	23	2773

【2020年度 疾病分類(大分類)別・年齢層別・性別 退院患者数】

類番	国際疾病分類	性別	0～9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60～64歳	65～69歳	70代	80代	90歳以上	大分類総計	
I	感染症及び寄生虫	男	0	3	6	4	1	2	0	2	6	5	5	34	
		女	0	3	7	1	7	1	3	2	9	9	8	50	
		計	0	6	13	5	8	3	3	4	15	14	13	84	
II	新生物	男	0	0	0	0	6	15	8	40	81	74	6	230	
		女	0	0	1	1	9	11	9	14	57	45	13	160	
		計	0	0	1	1	15	26	17	54	138	119	19	390	
III	血液および造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	0	0	0	0	2	3	0	2	4	4	1	16	
		女	0	0	0	0	0	1	0	0	11	3	3	18	
		計	0	0	0	0	2	4	0	2	15	7	4	34	
IV	内分泌、栄養および代謝疾患	男	0	0	0	0	2	8	4	2	10	14	2	42	
		女	0	0	0	0	2	1	0	5	8	6	5	27	
		計	0	0	0	0	4	9	4	7	18	20	7	69	
V	精神および行動の障害	男	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
		女	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	4
		計	0	1	1	1	0	0	0	0	0	2	0	1	6
VI	神経系疾患	男	0	3	2	0	3	1	2	6	13	8	1	39	
		女	0	1	0	4	1	0	0	1	11	7	5	30	
		計	0	4	2	4	4	1	2	7	24	15	6	69	
VII	眼および付属器の疾患	男	1	0	0	0	1	7	5	13	80	15	3	125	
		女	0	0	0	0	1	0	11	12	79	25	1	129	
		計	1	0	0	0	2	7	16	25	159	40	4	254	
VIII	耳および乳様突起の疾患	男	0	0	0	0	1	0	1	0	3	0	1	6	
		女	0	0	1	0	3	1	2	2	5	2	0	16	
		計	0	0	1	0	4	1	3	2	8	2	1	22	
IX	循環器系疾患	男	0	0	0	2	3	5	4	6	30	28	9	87	
		女	0	1	2	0	0	5	4	5	20	48	37	122	
		計	0	1	2	2	3	10	8	11	50	76	46	209	
X	呼吸器疾患	男	0	1	3	1	2	4	3	6	65	77	26	188	
		女	0	0	1	1	2	1	2	2	16	69	54	148	
		計	0	1	4	2	4	5	5	8	81	146	80	336	
X I	消化器系の疾患	男	0	3	4	16	33	61	35	43	125	64	13	397	
		女	0	2	4	9	14	35	16	28	66	53	9	236	
		計	0	5	8	25	47	96	51	71	191	117	22	633	
X II	皮膚および皮下組織の疾患	男	0	0	0	0	0	1	0	2	2	3	0	8	
		女	0	0	0	0	0	0	0	1	7	2	3	13	
		計	0	0	0	0	0	1	0	3	9	5	3	21	
X III	筋骨格系および 結合組織の疾患	男	0	2	2	3	1	8	2	5	16	6	3	48	
		女	0	0	0	0	6	6	3	1	17	14	8	55	
		計	0	2	2	3	7	14	5	6	33	20	11	103	
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	男	0	0	3	1	2	4	3	1	10	12	7	43	
		女	0	0	0	3	2	2	2	2	15	20	15	61	
		計	0	0	3	4	4	6	5	3	25	32	22	104	
X VII	先天奇形、変形及び 染色体異常	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
		計	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
X IX	損傷、中毒および その他の外因の影響	男	5	18	9	12	14	21	10	8	32	33	10	172	
		女	2	2	2	8	6	9	4	19	65	91	51	259	
		計	7	20	11	20	20	30	14	27	97	124	61	431	
X X II	特殊目的用コード	男	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	3	
		女	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	4	
		計	0	0	1	0	0	1	0	0	1	3	1	7	
総計		男	6	30	30	40	71	140	77	136	478	345	87	1440	
		女	2	10	20	27	53	74	56	94	388	395	214	1333	
		計	8	40	50	67	124	214	133	230	866	740	301	2773	

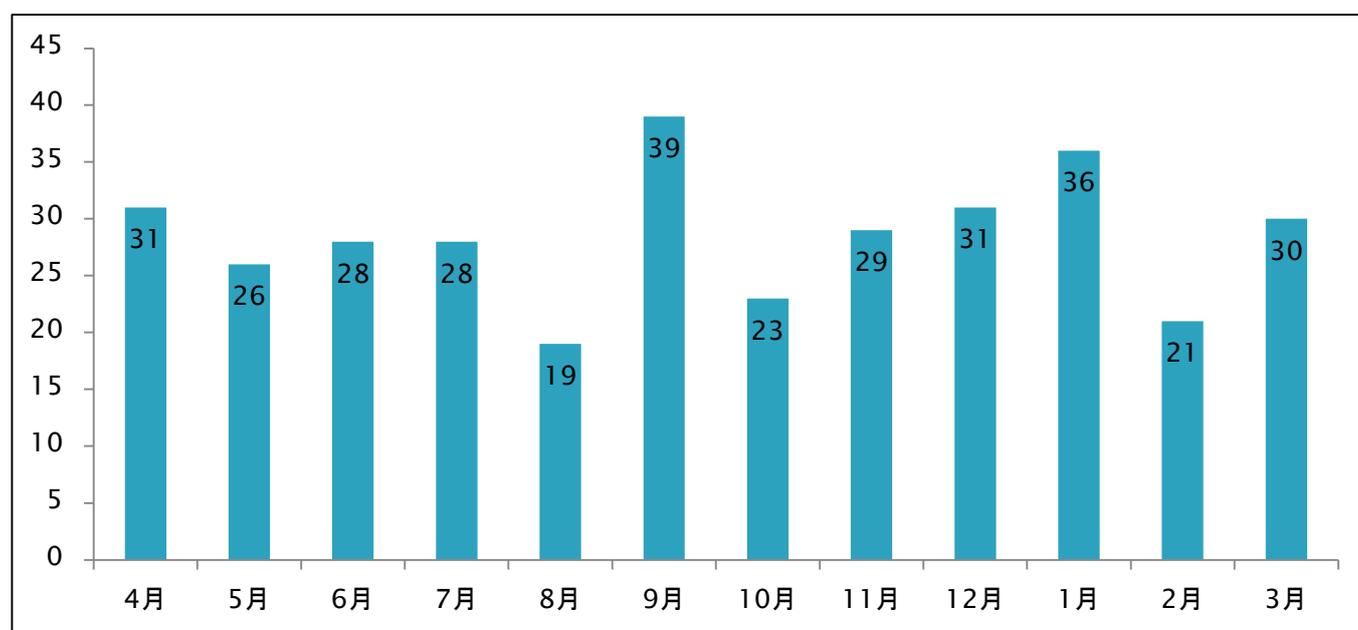
【2020年度 疾病分類(大分類)別・診療圏別・性別 退院患者数】

類番	国際疾病分類	性別	吉川市	越谷市	松伏町	三郷市	草加市	八潮市	野田市	県内その他	埼玉県外	総計
I	感染症及び寄生虫	男	13	13	2	4	1	0	0	1	0	34
		女	23	20	1	1	1	0	0	2	2	50
		計	36	33	3	5	2	0	0	3	2	84
II	新生物	男	108	60	10	15	28	0	1	5	3	230
		女	70	43	13	9	15	0	0	8	2	160
		計	178	103	23	24	43	0	1	13	5	390
III	血液および造血系の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	7	3	1	0	3	0	0	1	1	16
		女	8	5	2	0	3	0	0	0	0	18
		計	15	8	3	0	6	0	0	1	1	34
IV	内分泌、栄養および代謝疾患	男	25	9	3	3	0	1	0	1	0	42
		女	19	4	1	1	0	0	1	0	1	27
		計	44	13	4	4	0	1	1	1	1	69
V	精神および行動の障害	男	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		女	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
		計	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
VI	神経系疾患	男	19	11	0	4	0	0	0	4	1	39
		女	17	7	3	0	2	0	0	0	1	30
		計	36	18	3	4	2	0	0	4	2	69
VII	眼および付属器の疾患	男	105	8	9	0	3	0	0	0	0	125
		女	100	15	3	0	6	0	0	1	4	129
		計	205	23	12	0	9	0	0	1	4	254
VIII	耳および乳様突起の疾患	男	0	5	0	0	1	0	0	0	0	6
		女	11	5	0	0	0	0	0	0	0	16
		計	11	10	0	0	1	0	0	0	0	22
IX	循環器系疾患	男	51	19	5	2	2	1	0	2	5	87
		女	69	29	5	7	4	1	0	2	5	122
		計	120	48	10	9	6	2	0	4	10	209
X	呼吸器疾患	男	100	53	9	9	6	1	0	2	8	188
		女	76	41	6	4	13	2	0	2	4	148
		計	176	94	15	13	19	3	0	4	12	336
X I	消化器系の疾患	男	271	55	18	21	10	1	4	10	7	397
		女	150	42	22	10	6	2	0	4	0	236
		計	421	97	40	31	16	3	4	14	7	633
X II	皮膚および皮下組織の疾患	男	5	1	0	2	0	0	0	0	0	8
		女	9	0	2	0	0	0	0	2	0	13
		計	14	1	2	2	0	0	0	2	0	21
X III	筋骨格系および結合組織の疾患	男	30	6	5	3	1	1	0	2	0	48
		女	33	7	8	1	4	0	0	0	2	55
		計	63	13	13	4	5	1	0	2	2	103
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	男	22	6	2	6	4	0	0	2	1	43
		女	31	16	7	1	4	0	0	0	2	61
		計	53	22	9	7	8	0	0	2	3	104
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
X IX	損傷、中毒および その他の外因の影響	男	104	28	9	11	2	3	1	7	7	172
		女	172	47	13	9	6	3	0	4	5	259
		計	276	75	22	20	8	6	1	11	12	431
X X II	特殊目的用コード	男	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
		女	2	1	0	0	0	0	0	1	0	4
		計	2	1	0	3	0	0	0	1	0	7
総計		男	862	277	73	83	61	8	6	37	33	1440
		女	795	282	86	43	64	8	1	26	28	1333
		計	1657	559	159	126	125	16	7	63	61	2773

【2020年度 診療科別・月別・性別 死亡退院患者数】

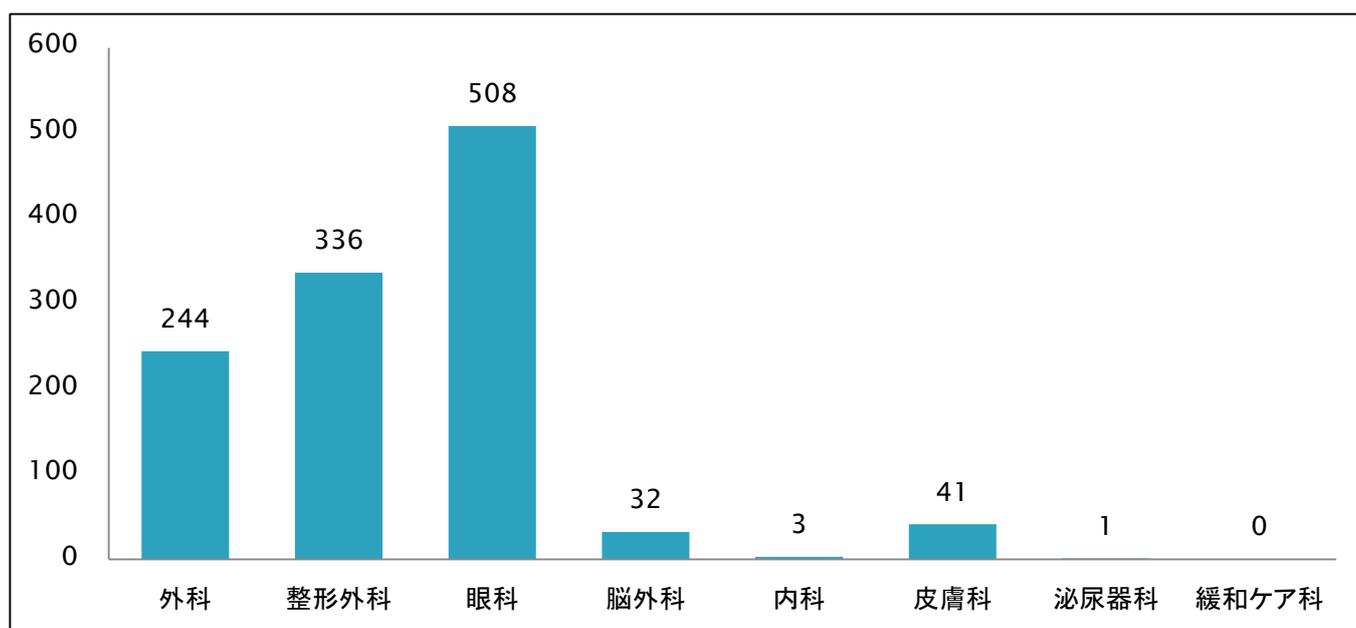
診療科	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	診療科 総計
内科	男	9	5	3	7	2	9	5	9	11	9	7	8	84
	女	8	7	8	5	5	11	4	4	10	13	4	8	87
	計	17	12	11	12	7	20	9	13	21	22	11	16	171
緩和ケア	男	7	5	8	7	3	8	8	6	3	6	6	4	71
	女	4	5	4	6	6	7	3	4	4	6	1	5	55
	計	11	10	12	13	9	15	11	10	7	12	7	9	126
外科	男	0	0	1	0	1	1	1	1	2	0	2	2	11
	女	1	2	0	0	0	2	1	2	0	1	0	2	11
	計	1	2	1	0	1	3	2	3	2	1	2	4	22
消化器科	男	0	1	2	2	1	0	1	0	0	1	0	0	8
	女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	計	1	1	2	2	1	0	1	0	0	1	0	0	9
脳神経外科	男	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	4
	女	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	5
	計	1	0	1	1	1	1	0	2	1	0	0	1	9
整形外科	男	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	女	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
	計	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	4
月別総計	男	17	12	15	17	7	18	15	17	17	16	15	14	180
	女	14	14	13	11	12	21	8	12	14	20	6	16	161
	計	31	26	28	28	19	39	23	29	31	36	21	30	341

【2020年度 死亡退院患者数】



【2020年度 診療科別・月別手術件数】

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総件数
外科	26	19	23	24	17	22	20	19	21	14	19	20	244
整形外科	19	24	25	30	29	29	30	28	42	28	19	33	336
眼科	35	30	23	46	36	46	52	65	53	43	45	34	508
脳外科	4	5	2	3	1	2	4	1	1	4	1	4	32
内科	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3
皮膚科	1	0	2	4	3	5	3	2	4	2	7	8	41
泌尿器科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
緩和ケア科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	86	78	75	109	87	104	109	115	121	91	91	99	1165



【2020年度 診療科別 退院患者統計】

[外科]

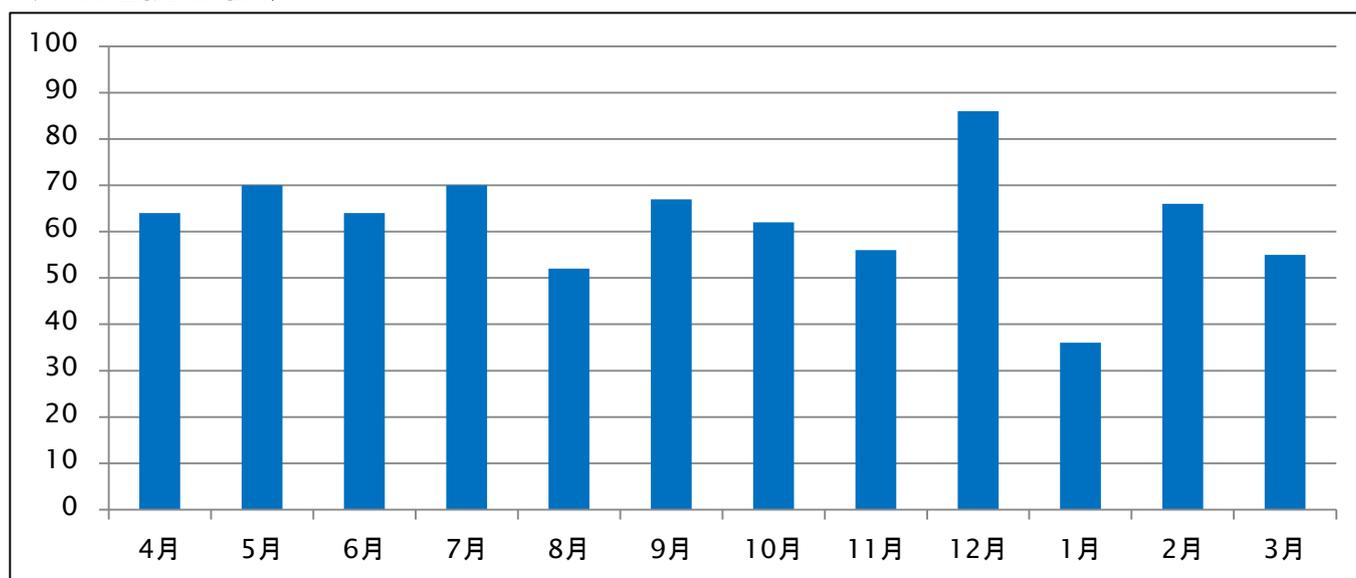
上位疾患

順位	ICD10	疾病分類名(小分類)	件数
1	K635	大腸(結腸)のポリープ	99
2	K573	大腸の憩室性疾患	48
3	K409	鼠径ヘルニア、閉塞及び壊疽を伴わないもの	35
4	K565	閉塞を伴う腸癒着	28
5	K801	胆のう炎を伴う胆のう結石	25

上位術式

順位	Kコード	術式	件数
1	K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除(直径2cm未満)	120
2	K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	43
3	K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(両側)	22
4	K718-21	内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術(ENBD)	19
5	K6335	鼠径ヘルニア手術	18

月別退院患者数



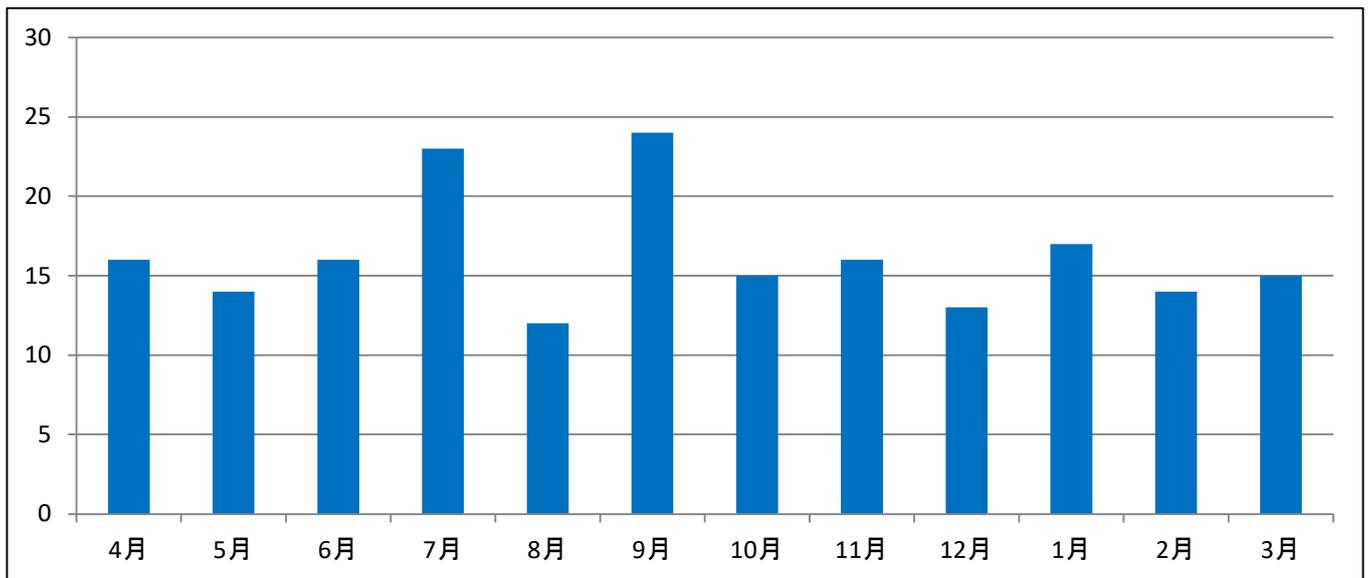
【2020年度 診療科別 退院患者統計】

[緩和ケア科]

上位疾患

順位	ICD10	疾病分類名(小分類)	件数
1	C349	肺癌【部位不明】	12
2	C343	肺癌【下葉、気管支又は肺】	11
3	C341	肺癌【上葉、気管支又は肺】	11
4	C250	膵頭部癌	10
5	C169	胃癌【部位不明】	9

月別退院患者数



【2020年度 診療科別 退院患者統計】

[眼科]

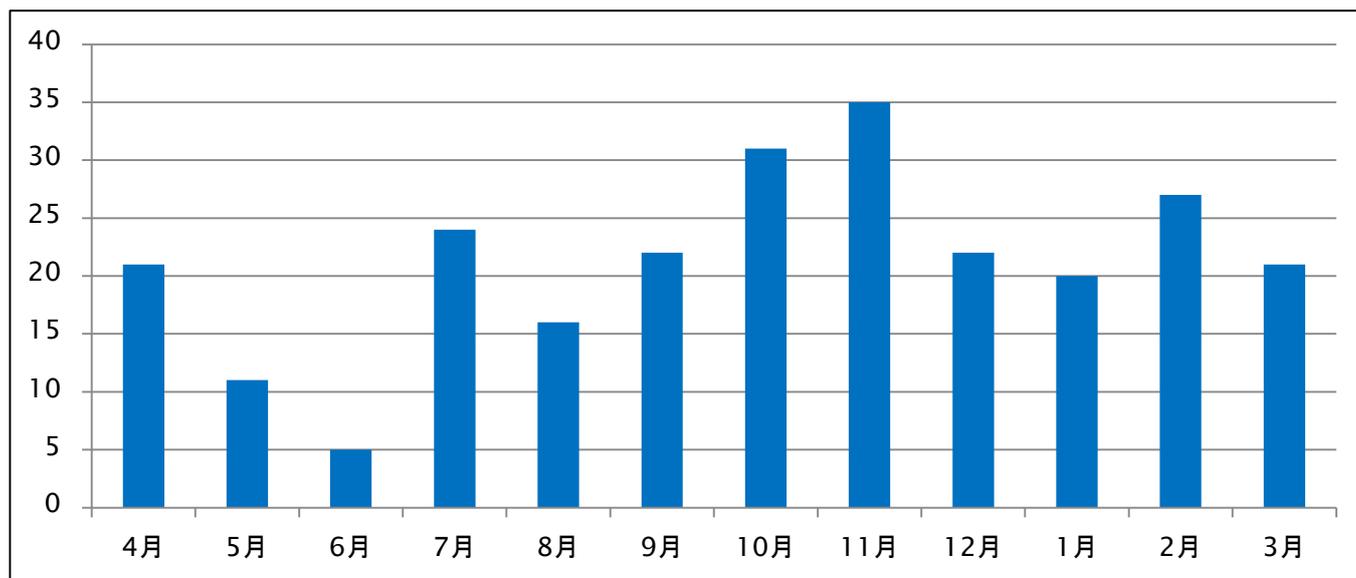
上位疾患

順位	ICD10	疾病分類名(小分類)	件数
1	H250	老人性初発白内障	129
2	H251	老人性核白内障	91
3	H280	糖尿病性白内障	15
4	H258	その他の老人性白内障	6
5	H401	原発開放隅角緑内障	4

上位術式

順位	Kコード	術式	件数
1	K2821口	水晶体再建術(眼内レンズを挿入する場合)(その他)	246
2	K2683	緑内障手術(濾過手術)	2
3	K2821イ	水晶体再建術(眼内レンズを挿入)(縫着レンズ挿入)	1
3	K2423	斜視手術(前転法と後転法)	1
3	K2684	斜視手術(前転法と後転法)	1

月別退院患者数



【2020年度 診療科別 退院患者統計】

[消化器科]

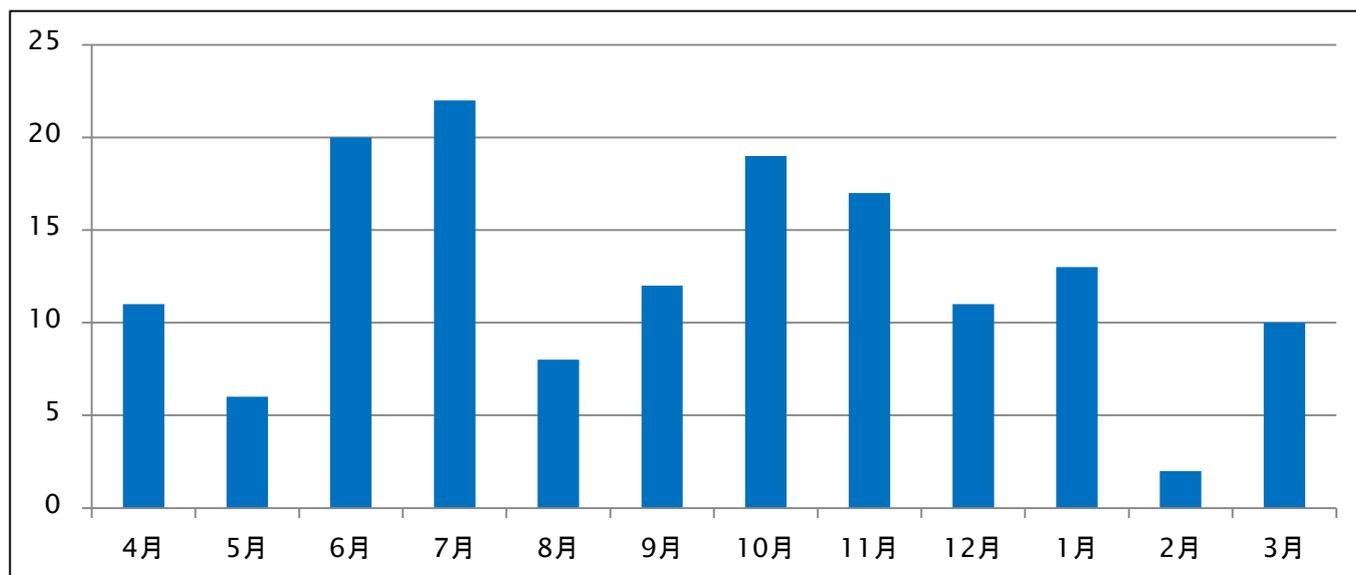
上位疾患

順位	ICD10	疾病分類名(小分類)	件数
1	K635	大腸(結腸)のポリープ	44
2	K573	大腸の憩室性疾患	13
3	I691	脳内出血の続発・後遺症	7
4	K703	アルコール性肝硬変	7
5	C162	胃体部癌	5

上位術式

順位	Kコード	術式	件数
1	K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(直径2cm未満)	44

月別退院患者数



【2020年度 診療科別 退院患者統計】

[整形外科]

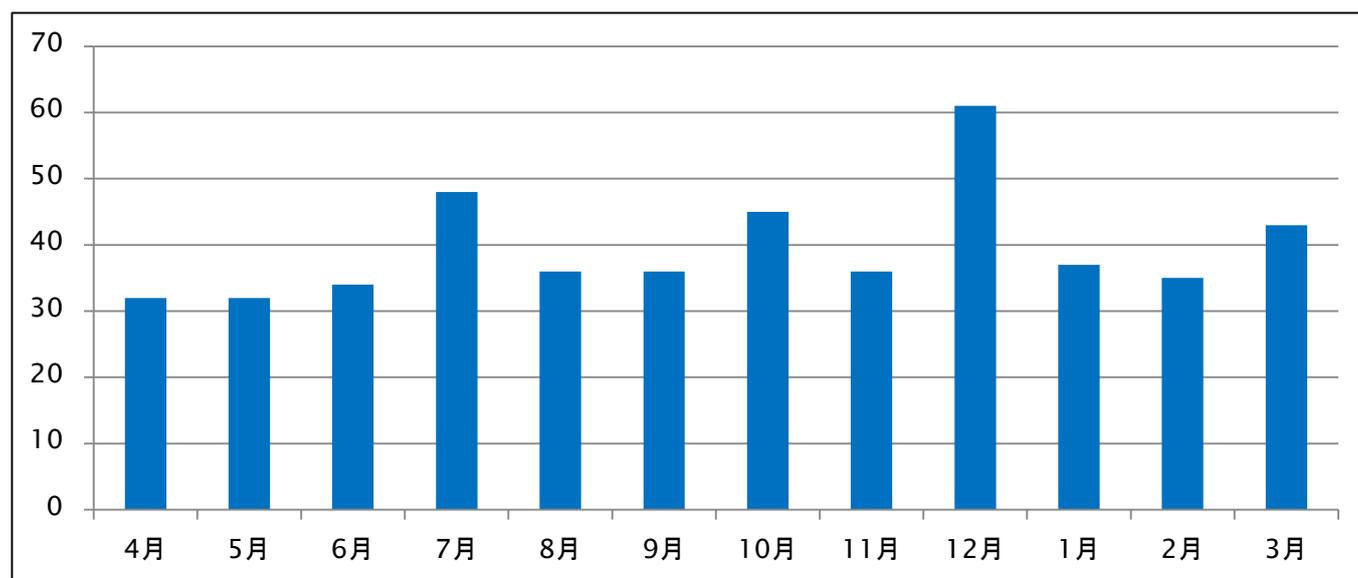
上位疾患

順位	ICD10	疾病分類名(小分類)	件数
1	S7200	大腿骨頸部骨折	51
2	S5250	橈骨遠位端骨折	40
3	S3200	腰椎圧迫骨折	40
4	S7210	大腿骨転子部骨折	35
5	M4806	腰部脊柱管狭窄症	25

上位術式

順位	Kコード	術式	件数
1	K046	骨折観血的手術	102
2	K048	骨内異物(挿入物を含む)除去術	46
3	K0811	人工骨頭挿入術	31
4	K073	関節内骨折観血的手術	28
5	K0821	人工関節置換術	17

月別退院患者数



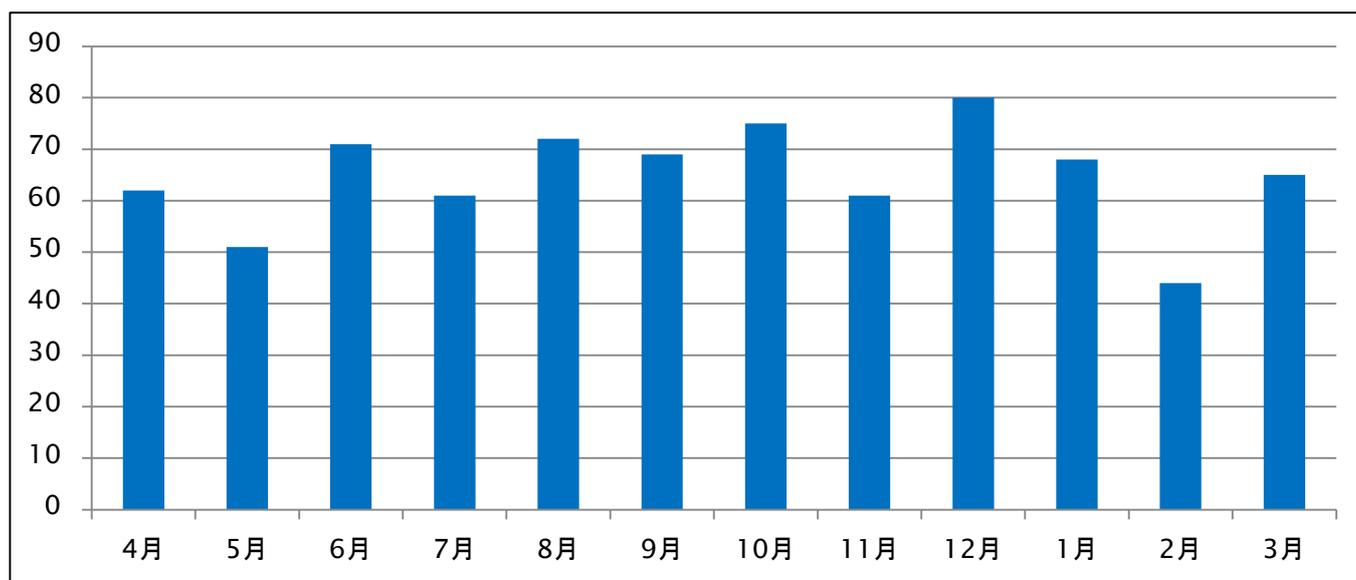
【2020年度 診療科別 退院患者統計】

[内科]

上位疾患

順位	ICD10	疾病分類名(小分類)	件数
1	J690	誤嚥性肺炎	101
2	J189	急性肺炎	87
3	J159	細菌性肺炎	43
4	N390	尿路感染症	37
5	K635	大腸<結腸>のポリープ	30

月別退院患者数



【2020年度 診療科別 退院患者統計】

[脳神経外科]

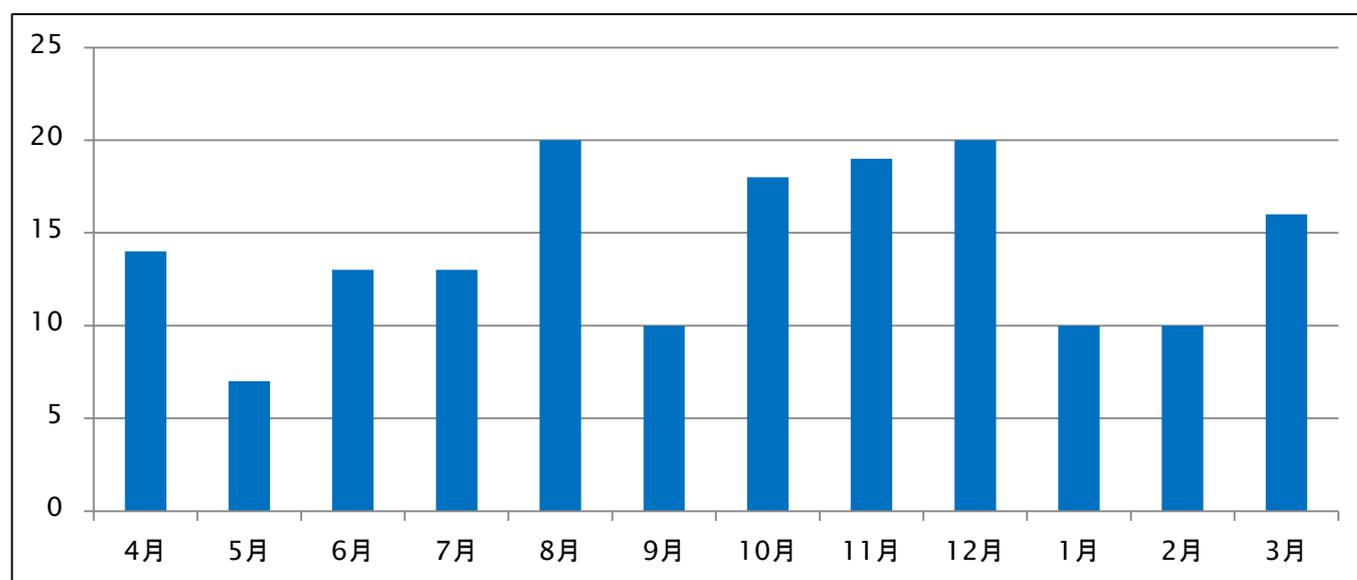
上位疾患

順位	ICD10	疾病分類名(小分類)	件数
1	I633	アテローム血栓性脳梗塞	74
2	S0650	外傷性硬膜下出血	19
3	I610	(大脳)半球の脳内出血	11
4	I634	脳動脈の塞栓症による脳梗塞	9
5	G912	正常圧水頭症	7
5	G403	全般性特発性てんかん及びてんかん症候群	7

上位術式

順位	Kコード	術式	件数
1	K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	11
2	K1742	水頭症手術(シャント手術)	8
3	K000	創傷処理	4
4	K1692	頭蓋内腫瘍摘出術(その他)	3
4	K664	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術を含む)	3

月別退院患者数



【2020年度 年齢別 新規外来患者数統計】

年齢区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	新来院患者数
0歳～2歳未満	18	5	13	6	13	14	26	13	13	7	14	14	156
2歳～4歳未満	2	2	2	7	5	3	4	11	10	7	8	12	73
4歳～6歳未満	3	1	1	4	1	4	2	1	4	8	6	4	39
6歳～10歳未満	3	1	1	2	6	2	5	10	7	4	7	8	56
10歳～20歳未満	9	11	5	7	17	10	8	10	16	2	7	16	118
20歳～30歳未満	35	27	44	45	39	35	32	36	39	32	33	23	420
30歳～40歳未満	31	21	29	23	39	23	28	36	45	30	35	41	381
40歳～50歳未満	21	17	21	36	41	31	30	30	32	32	31	39	361
50歳～60歳未満	14	26	20	26	27	20	27	26	51	15	20	20	292
60歳～65歳未満	11	9	5	11	11	10	11	14	8	4	8	10	112
65歳～70歳未満	15	3	13	9	12	16	12	12	7	7	9	14	129
70歳～75歳未満	13	10	13	10	13	23	14	11	21	12	14	10	164
75歳～80歳未満	10	13	15	11	20	18	18	14	21	6	8	17	171
80歳～85歳未満	14	9	12	18	12	12	17	18	10	11	7	9	149
85歳～90歳未満	2	5	10	3	2	14	10	9	15	4	7	11	92
90歳以上	2	2	2	1	2	4	4	2	9	8	7	6	49
合計	203	162	206	219	260	239	248	253	308	189	221	254	2762

【2020年度 年齢別 外来患者件数統計】

実患者数： 17655名

年齢区分	初診						再診						総計						新来院患者数
	時間内	時間外	休日	深夜	特例時間外	計	時間内	時間外	休日	深夜	特例時間外	計	時間内	時間外	休日	深夜	特例時間外	計	
0日～2歳未満	356	0	11	3	8	378	380	0	2	0	2	384	736	0	13	3	10	762	156
2歳～4歳未満	353	0	15	5	13	386	464	0	8	0	0	472	817	0	23	5	13	858	73
4歳～6歳未満	415	0	14	3	6	438	539	0	4	0	0	543	954	0	18	3	6	981	39
6歳～10歳未満	758	1	8	1	17	785	883	0	0	0	1	884	1641	1	8	1	18	1669	56
10歳～20歳未満	1483	0	13	19	36	1551	1743	0	2	1	2	1748	3226	0	15	20	38	3299	118
20歳～30歳未満	1099	2	54	57	51	1263	1729	0	5	5	4	1743	2828	2	59	62	55	3006	420
30歳～40歳未満	1125	3	63	38	57	1286	2895	0	3	4	7	2909	4020	3	66	42	64	4195	381
40歳～50歳未満	1298	0	54	46	50	1448	6324	0	16	8	6	6354	7622	0	70	54	56	7802	361
50歳～60歳未満	1057	0	34	46	49	1186	9396	0	43	5	10	9454	10453	0	77	51	59	10640	292
60歳～65歳未満	383	0	13	7	15	418	5340	0	6	4	5	5355	5723	0	19	11	20	5773	112
65歳～70歳未満	463	1	12	9	26	511	7766	0	7	5	5	7783	8229	1	19	14	31	8294	129
70歳～75歳未満	605	0	27	9	28	669	12960	2	31	8	23	13024	13565	2	58	17	51	13693	164
75歳～80歳未満	520	0	19	15	17	571	15254	1	20	10	13	15298	15774	1	39	25	30	15869	171
80歳～85歳未満	350	0	22	12	33	417	11532	0	20	6	20	11578	11882	0	42	18	53	11995	149
85歳～90歳未満	179	0	14	7	9	209	6352	1	5	6	13	6377	6531	1	19	13	22	6586	92
90歳以上	86	0	5	6	6	103	3119	0	4	2	7	3132	3205	0	9	8	13	3235	49
合計	10530	7	378	283	421	11619	86676	4	176	64	118	87038	97206	11	554	347	539	98657	2762

2020年度 各部署 年次報告

2021年3月31日現在

看護部

2020年度目標

看護部の組織強化と患者の期待に応える最善な看護の提供

- 1.患者を支える安全・安心な看護体制の構築
- 2.切れ目のない看護ケアの実践
- 3.病院経営への参画
- 4.マネジメント能力の向上
- 5.第三者評価を活用した活動

2020年度総括

1.患者を支える安全・安心な看護体制の構築

①16:1看護師夜間配置加算の取得

患者・職員の安全と療養環境と職場環境を改善する理由から、夜勤看護師を増やし、夜勤配置16:1加算の取得を目指した。各部署とも人員確保ができ、ラダー目標と技術チェックリストを用い看護業務自立を整え看護師配置ができた。

②夜間責任者の配置

院内の患者・職員の安全を担保するため、看護管理者会議及び看護部主任会議で責任者を配置する提案をし、業務マニュアルの作成、検討を行い徐々に配置することにした。しかし、当直できる管理者に限られることと日勤業務から夜勤にシフトすると日勤の管理業務が滞る事態も出ている為、次年度も引き続き取り組んでいく。

③院内デイケアの開催

認知症患者やせん妄をおこす患者が増え 病棟業務が多忙となりステーション内で見守るなどのマンネリ化したケアになっていた。倫理的配慮・患者へのケアの質向上を図る為、プロジェクトチームを結成し 12月に実施に至った。現在、実施した結果を分析中。今後の開催に関しては、コロナ渦でもあり感染対策を重視し慎重に考えて行く。

看護部

2.切れ目のない看護ケアの実践

①入退院支援の強化

入退院支援部会を中心に 多職種の協力も得ながら体制の構築と組織強化を行った。また、対応する看護師、を専従配置し、行動マニュアルの作成と実施に向けた院内周知を行った。

3.病院経営への参画

①目標稼働率の達成

毎朝のベッドコントロール会議で 情報共有し患者受入れを最大限に考え行動した。現在、コロナ渦であるため院内感染防止策を徹底し 円滑な患者の受け入れを行っている。

②回復期リハビリ病棟の拡大

10月に回復リハ病棟30床と療養病棟54床の病棟交換に向けて プロジェクトチームを立ち上げ、多職種とのチームワークのもと計画を立て目標を達成した。

4.マネジメント能力の向上

①目標管理の実施

2020年は、目標管理シートを変更し 四半期ごとの進捗確認と PDCAサイクルを回しながら成果をだした。

《 看護部 看護部長 中澤文子 》

医療安全管理室

2020年度目標

1. 患者安全活動の実践に係る業務改善
2. 医療安全管理部門としての病院経営への参画
3. 安全文化の啓蒙と組織力強化
4. 病院機能評価を活用した患者中心の医療の推進

2020年度総括

医療安全におけるインシデントレポートの意義や重要性は浸透しており、一定の報告数を集計したうえで原因の分析、対策立案、再発防止を実践している。医療安全対策に関する相互評価で指摘のあった内容については、リスク部会が中心となり、末梢静脈ライン抜去のインシデント報告の周知に取り組むことができた。

当院における医療事故報告基準を患者への影響度分類に応じ、レベル0～3aをインシデント報告、レベル3b～5を医療事故報告とすることに改訂した。医療安全管理指針、医療安全管理体制および組織図の改訂、医療事故発生時の報告連絡体制改訂などを行った。

また、当院の説明と同意に関する規定、急変時救命治療に関するガイドラインにおいては、倫理委員会と協働し職員へ周知活動を実施、特に診療部へは進捗を確認しながら継続した取り組みが必要であり、今後の課題としていく。

インシデント報告件数 1710件 / 昨年1642件 事故レベル3b以上の報告件数 13件 / 昨年45件

2021年度目標

1. 倫理的課題に倫理委員会と協働して取り組み、説明と同意に関する規定、急変時救命治療に関するガイドラインを改訂、職員へ周知する。
2. 各部署リスク部員が自部署の課題に対して医療安全目標を設定、安全活動の実践内容を評価する。
3. 安全で良質な医療を提供するため、専門知識と広い視野を持ち誠実に対応できるよう、研修のあり方を検討し職員研修を開催する。
4. 地域連携病院と医療安全対策に関する相互評価を実施する。

《 医療安全管理室 科長 細沼 睦子 》

薬剤部

2020年度目標

病院経営に携わっている自覚を持ち、他部署と協力して患者のために薬の適正使用・管理を徹底する

2020度行動目標

1. 病院機能評価受審に向けて、業務の改善活動をより推進する
2. 診療報酬改定内容を把握し、薬剤師のニーズに的確に応える
3. 薬剤科症例検討会の質を向上させるために、実施方法の見直しを行う
4. キャリアラダー評価を適切に行い、特に中堅世代の教育を進める
5. 不適切な医薬品の使用について調査と改善行動を検討する

2020年度総括

今年度はコロナ対応に追われる1年ではあったが、薬剤科では病棟での感染対策の徹底や休憩室でのマスク着用なしでの会話禁止、密を避けるためにお昼休憩を3交代制にするなど、薬剤科内でもし新型コロナ感染者が発生してもそこから広がらない工夫を徹底的に行ってきた。そのような中、診療報酬改定内容をしっかりと確認し、新たな業務として、退院患者のかかりつけ薬局への薬剤情報サマリーの提供、がん化学療法レジメンの公開と研修会の実施などを行い新設された加算の算定を行うことが出来た。また、症例検討会の質の向上のため教育担当主任と薬局長による添削を実施し、全員年1回の発表を行った。また、12月より完全当直体制に移行したことで24時間365日薬剤師常駐体制になった。日中の薬剤師数が減るなど大変な部分もあるが、これまで以上に医薬品の安全な使用に寄与していきたいと考えている。残念ながら中堅世代の教育や不適切な医薬品使用の調査などは実施できなかったが、来年度には実施し、引き続き、自ら考えて行動できる薬剤師を育成していきたいと考えている。

2021年度目標

1. 病院機能評価更新と財務監査・適時調査に対応した基本業務の見直し
2. 自ら行動できる薬剤師の育成(病棟業務・調剤業務の改善、学会発表)
3. 在宅訪問服薬指導の実施(月5件以上)
4. がん化学療法における調剤薬局との連携強化
5. 手術室の医薬品管理方法の見直し

《薬剤科 科長 海老根卓也》

リハビリテーション科

2020年度目標

- 1.機能評価に向けてマニュアル整備
- 2.臨床での気道吸引導入
- 3.離職率10%の維持
- 4.退院患者の外来、訪問、通所への移行の推進

2020年度総括

病院機能評価受審は延長となったが、リハビリテーション依頼の改定など業務の整備がある程度は実施できた。

気道吸引は4A病棟、3B病棟を中心に看護部の協力のもと、実施することが出来ている。今後は2A病棟、2B病棟、3C病棟での実施を検討している。

離職者は9名となり離職率10%をわずかに超えてしまった。

退院患者の外来、訪問、通所への移行については入院担当が退院後も継続して担当していくことで、移行の推進を考えていたが、新型コロナの影響で実施することが出来なかった。

2021年度目標

- 1.機能評価に向けてマニュアル整備
- 2.臨床での起動吸引導入
- 3.離職率10%の維持
- 4.退院患者の外来、訪問、通所への移行の推進

《 リハビリテーション科 科長 櫻場 勝 》

検査科

令和2年度(2020年度)目標

- 1.超音波予約外検査(緊急検査以外)への迅速対応
- 2.地域への検査案内活動
- 3.SWEの導入による質の向上と増収
- 4.血液製剤廃棄率削減
- 5.超音波検査対応者数アップ
- 6.学会発表
- 7.科内エコーカンファレンスの実施
- 8.誤認防止のための運用変更

令和2年度(2020年度)総括

- 1.予約外の超音波検査については、可能な限り調整し99%対応する事が出来た。
- 2.吉川市民祭りで、地域住民へ検査について案内を実施する予定だったが、新型コロナウイルスの影響で開催できず達成できなかった。
- 3.肝硬度測定アプリを導入し増収する予定だったが、新型コロナウイルスの影響で先送りとなり達成できなかった。
- 4.血液製剤の適正使用と廃棄率削減のため、OPE翌日に血液製剤の使用の有無を確認し可能な限り他患者に利用する事を実行したが、血液型によっては対象となる患者が無く、最終的に廃棄となり前年度より廃棄率を下げる事ができなかった。
- 5.随時超音波検査の依頼に対応出来る様、スタッフを計画的に育成する事が出来た。今後は更に対応可能な領域を計画的に増やす予定である。
- 6.対外的活動として、一演題の学会発表を実施する予定だったが準備する事が出来なかった。次年度は確実に発表できるよう、計画的に進めることとした。
- 7.エコー検査について科内カンファレンスを実施し、情報共有と知識向上を図る事が出来た。
- 8.手書き伝票や手書きラベルでの検体提出による確認の問い合わせが外注先からあり、誤認防止のための運用を検討し電子カルテから患者ラベルを出力する事で統一し誤認防止策を徹底する事ができた。

2021年度目標

- 1.非効率な業務の見直し
- 2.誤認防止策の強化
- 3.地域への貢献(ピンクリボンへの参加)
- 4.対外的活動(学会発表)
- 5.超音波人員の育成

《検査科 科長 松澤 秀司》

放射線科

2020年度目標

1. 安定した組織体制にて医療を提供する為に人員の定着
2. モダリティ教育の構築
3. 地域の医療機関との連携強化
4. 保険外収入の検診増加
5. CT・MRIの安定稼働
6. 院内勉強会・症例検討会の実施
7. 医療安全報告の習慣化
8. 各マニュアルの見直し、DRL(医療被ばく)の低減

2020年度総括

放射線技師数は中途1名を含む11名の体制を保つことが出来た。しかし教育体制が不十分な為、当直体制や一部業務に負担がかかっているその負担軽減が今後の課題である。地域連携での機器共同利用件数、検診MDL件数は例年と同程度であったが、CTは大幅な減少、MRIも減少とCOVID-19の影響を大きく受けたと考えられる。院内の勉強会については動画等を活用し開催することで多くの参加者が得られたので今後も活用していきたい。しかしながら症例検討会の開催までは至らなかったのは今後の課題である。医療安全報告の件数についてもやや少なかったので継続して積極的な呼びかけが必要であると考え。各マニュアルについてはラダーも含め見直しが出来たがDRLで一部高い所が見受けられたので改善が必要である。

2021年度目標

1. 人員の定着と当直人員の増加(技師数13名、当直8名)
2. 有給休暇 取得率UP(有給休暇取得率60%)
3. 地域連携の共同利用件数UP(年600件)
4. CT・MRIの安定稼働(CT:年8,000件、MRI:2,500件)
5. 検診業務の充実(MDL:年1,150件)
6. 院内勉強会の実施(年3回)
7. 医療安全報告の定着(報告数:年60件)
8. 業務改善の取り組み(一般撮影再撮影基準、腹部造影撮影見直し)

《 放射線科 科長 笹川 拓也 》

栄養科

2020年度目標

- 1.入院栄養指導件数増 75件／月
- 2.近隣病院・施設との連携 栄養情報提供書作成 30件/年
- 3.新人育成
- 4.食事での患者満足度向上 満足度80%以上
- 5.コスト業務へ集中できるよう業務改善

2020年度総括

人事に関しては変更なく4名体制、新人が病棟を一人で担当できるようになり病棟栄養管理強化がはかれるようになった。

給食委託業務に関して、エムティーフードと継続契約更新しているが4月から食数単価制から管理費制に変更となっている。

診療報酬改定により①栄養情報提供書加算と②連携充実加算・化学療法患者指導の新規加算算定が可能となり、①は目標値の約400%増、②は化学療法委員会に参加となり化学療法室(33件/年)にて栄養相談を開始した。来年度は専任者の介入時間増に向け業務量調整をはかっていきたい。

臨床実習に関して、コロナ禍ではあったが万全な感染対策を行い、2/3～3/15の期間で東洋大学2名、3/2～3/14の期間で十文字学園女子大学2名を受入れた。

目標管理について、目標1達成⇒105件/月(前年度より44%増)、目標2達成⇒174件、目標4達成⇒上期89%・下期92%。

2021年度目標

- 1.入院栄養指導件数増 100件／月
- 2.近隣病院・施設との連携 栄養情報提供書作成 15件/月
- 3.化学療法室に常駐 月2回
- 4.食事での患者満足度向上 満足度80%以上
- 5.糖尿病療養指導士資格取得 2名
- 6.学会発表 1件

《 栄養科 主任 矢口 千恵 》

総務課

2020年度目標

1. 課のレベルアップ・人材育成
2. 経費節減
3. コンプライアンス体制の徹底
4. 職員の満足度アップ

2020年度総括

- 1.課内の適正な人員数を配置し、業務担当表を作成した。
長く同じ業務を行っている傾向があったため、業務のローテーション及び可能な限り複数体制をとることに注力した。特に採用人事は2名体制にしたことで応募、面接、採用までの流れがスムーズになった。
しかし全ての業務がうまくいっているわけではなく1年かけてもまだ引継ぎが出来ず、前担当者がそのまま継続して行っている業務もあり次年度の課題である。
- 2.支出のうち、光熱費は患者の療養環境を守るためにも限度がある為無駄な電気や水道の使用を委員会等で注意喚起した。
修理や購入の支出を抑える為に2社以上の見積もり提出及び二次見積もりを取ることを徹底した。
- 3.資格証の管理、埼玉県・保健所・厚生局等への届出管理を延滞なく行うこと、障害者を雇用するために人事担当者を積極的に研修会に参加させた。
- 4.職員が安心して働ける環境を提供しなければならないこと、職員からの信頼を得ることを心掛けた。しかし、修理品を溜めてしまい対応が遅く不満の声が出るが多かったため、月に数回(原則毎週火曜日の午後)は修理の日と定め、男性職員が理対応に努めた。

2021年度目標

1. 課のレベルアップ・人材育成
2. 経費節減
3. コンプライアンス体制の徹底
4. 職員からの信頼を得る

《 総務課 統括課長 高野 英俊 》

医事課

2020年度目標

1. 返戻査定の減少
2. CMS事務職認定試験勉強会の開催
3. 医事課教育マニュアルの策定
4. 院内掲示物確認ラウンドの実施

2020年度総括

課内のミーティングでは継続して返戻査定の傾向と対策を周知。実施回数は減少したものの、返戻率、査定率共に減少した結果となった。

CMS事務職認定試験の勉強会を開催。初級、中級、上級の医事課の範囲の勉強会を実施。試験範囲を網羅し勉強会を行った。

医事課業務改善のミーティングの定期開催(計12回)を目標とした。

医事課の人員減少や人事異動の影響もあり開催できない月があった。インシデントの報告と確認、対策の立案までを行い、日常業務の効率化に反映させるべく定期開催を目指した。来年度も継続した開催を行う。

施設基準基準管理に向けた検討会を実施。年4回を目標設定。結果として1回検討会を行った。掲示物管理を目的とした院内ラウンドの検討を行った。施設基準に関わる掲示物確認(2ヶ月に1回)来年度の目標とする。

医事課

2021年度目標

- 1.ラダーの運用・評価(課内ラダー)半期ごとの運用・更新
- 2.部署別勉強会の開催月(1回開催)
- 3.業務効率化の実践(ワークアウト1題)
- 4.施設基準を遵守する為の体制の構築(月1回監査)
- 5.返戻・査定率の減少〃返戻率2.0%以下、査定率0.2%以下〃
- 6.時間外削減 前年対比全体で(5%減)
- 7.有給取得率の増加 取得者数/課員数 (40%以上四半期ごとの監査)
- 8.医療看護必要度Ⅱのモニタリング (月2回以上の監視・配信)
- 9.未収金の減少前年対比全体で(5%減)
- 10.病院ホームページへ病院指標の定期公表年1回(9月)
- 11.接遇勉強会の実施 年1回(2021年12月開催予定)
- 12.地域医療構想に基づく病床機能報告の提出(年2回)
- 13.令和4年度診療報酬改定勉強会の実施(計1回/1年)

《 医事課 係長 福田 和也 》

患者家族支援課

2020年度目標

多職種連携し安定したベッド稼働の維持

- ①入院支援加算の取得
- ②入退院支援部会で勉強会企画、実施
- ③人材育成 教育
- ④人材育成 定着

2020年度総括

今年度は、コロナ感染が拡大して緊急事態宣言発令とともに受診控えが進み病院全体のベッド稼働は低下した。10月療養病棟と回復期病棟の病床数を変更したため、7月から入退院患者の調整、外部機関への広報、営業活動など行った。5月から特殊外来開始によりコロナ感染疑い患者の受診方法など近隣施設やクリニックへ情報提供を適宜行っていった。

部署の取り組みとしては、入院支援加算の件数増加を図るために入院支援Nsを増員。外来、コメディカル部門と連携し予約患者受け入れマニュアル作成、外来部門に面談室を設けるなど環境整備もできた。

また、入院予約患者の関わり方の必要性を周知させるため、勉強会や資料作成して院内職員に周知を図った。

職員は連携と相談部門に1名ずつ新人が配属され、退職する職員もいなかった。

2021年度目標

1. 入退院支援の強化
2. 患者受け入れ体制の強化
3. 人材育成 教育

《 患者・家族支援課 係長 吉田 美智子 》

健康管理課

2020年度目標

1. 健康管理課のWebの最適化
2. 職員個人の検査知識の向上継続
3. 外来受診率10パーセント増目標
4. 売上単価の増加

2020年度総括

1. 健康管理課Webの最適化

ホームページ内の健診部門のトップページのアイコンを変更し、より分かりやすくし、内容についても訂正・改訂および感染防止対策など時期にあったものを掲載するよう心がけた。また、Web健診予約サイトのへも参入し、新たな受診者獲得も実現できた。

2. 職員個人の検査知識の向上

課内での勉強会は実施できなかったが、厚労省からの健診に関する改定情報や検査項目の解説資料の配布などを行い、スタッフの知識向上に努めた。

3. 外来受診率10パーセント増目標

2020年度の二次検査受診者は前年度比145%であった。これは結果送付時に二次検査案内の同封や、必要時は受診当日に積極的に外来受診を進めた結果であると考えられる。2021年度も引き続き受診勧奨を続けていきたい。

4. 売上単価の増加

2020年度は緊急事態宣言による健康診断中止や受診控えによる受診者総数の減少により、売上単価は前年度に比べわずかに減少したが、人間ドック受診者数の増加及び新オプションの設定により、2021年度は受診者数・売上共に拡大するよう受診者受入により一層努力したい。

2021年度目標

1. ホームページ・Web予約サイトの更新及び有効活用
2. 年間売上前年比10%増
3. 二次検査受診率前年度比10%増
4. 全日病日帰りドック指定施設取得
5. スタッフの育成・知識向上

《 健康管理課 係長 和田 みどり 》

Yoshikawa Central General Hospital